

# BLIMP

サスペンション・ウィンドシールドシステム

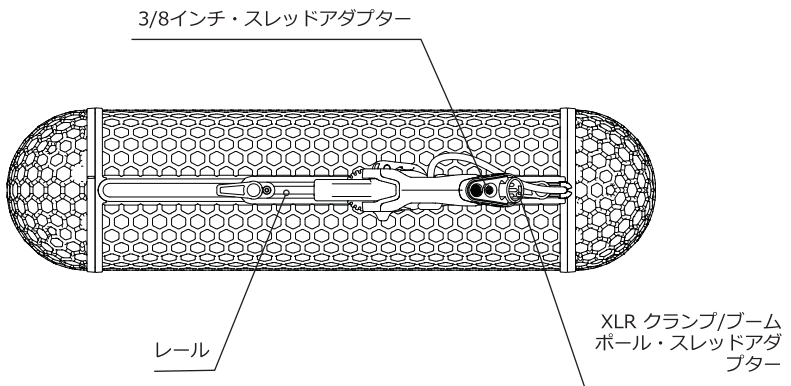
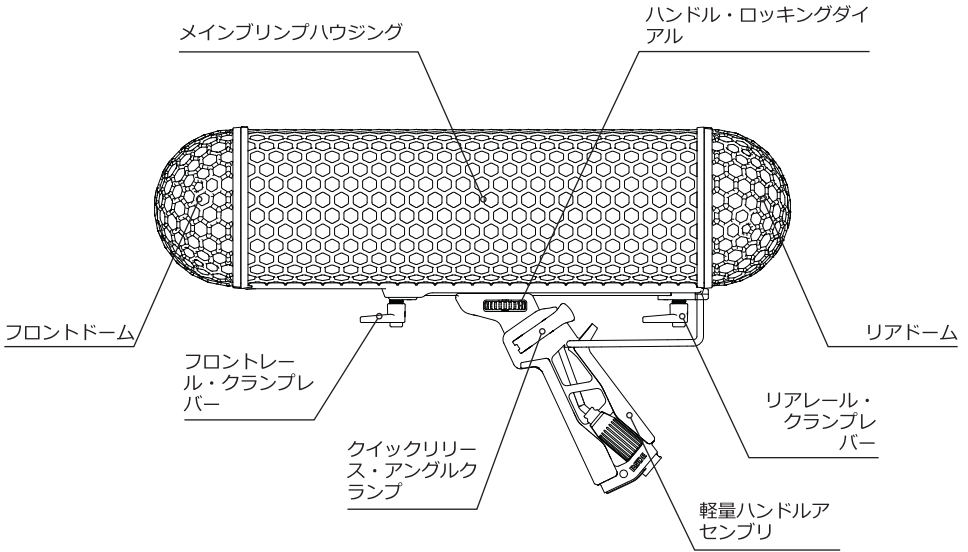
製品マニュアル

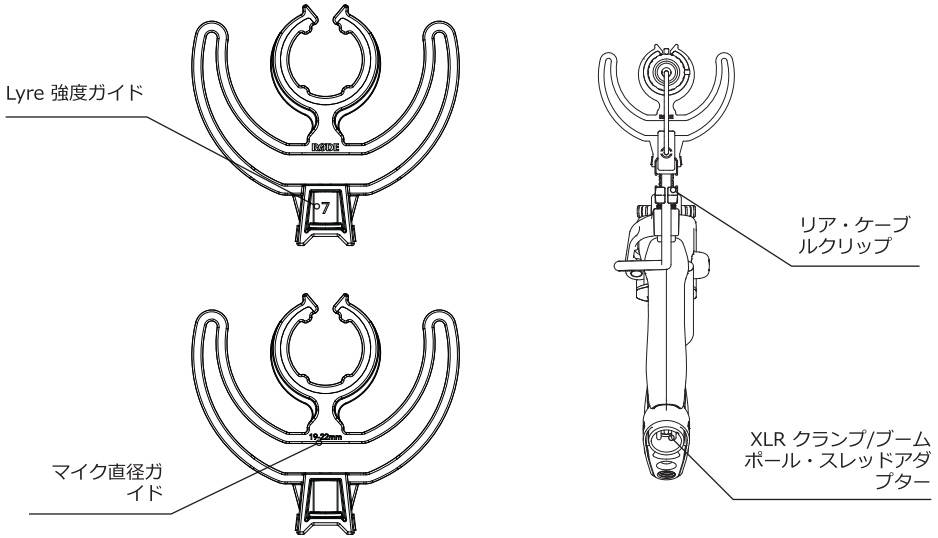
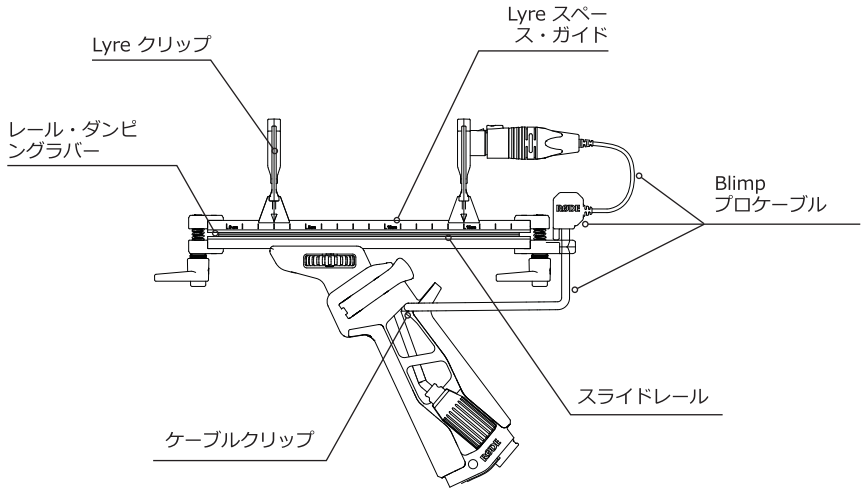


**RØDE**<sup>®</sup>  
MICROPHONES



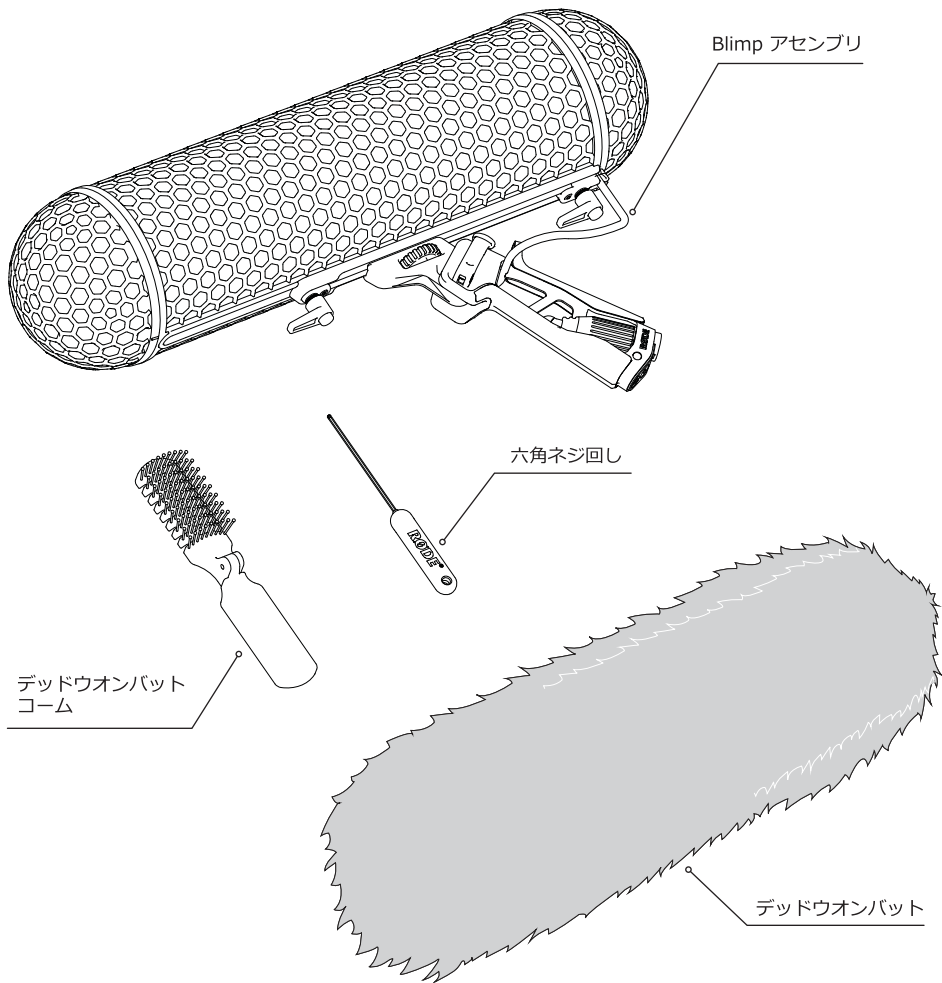
# RØDE Blimp



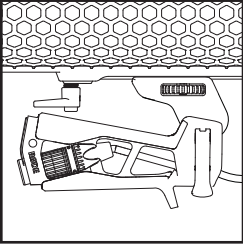


# 同梱アクセサリ

---

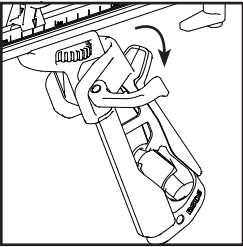


# ハンドルの調節

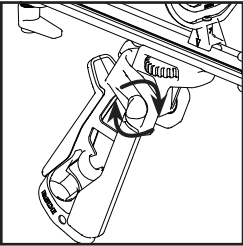


RØDE Blimp はハンドルを折り畳んだまま、またアングルクランプも緩めた状態で出荷されているため、ハンドルアングルのセッティング及び調節は以下の手順で行う必要があります。

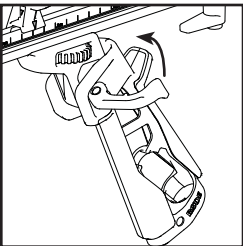
移動時や保管の際は、ハンドルを折り畳むことを推奨します。



1. ハンドル左側のクイックリリース・アングルクランプを開き、任意の角度にハンドルを広げます。



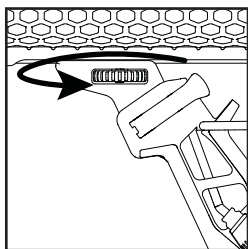
2. ハンドル右側のアングルクランプ・ネジを締めてクイックリリース・クランプの張り具合を調節します。



3. ハンドル左側のアングルクランプを閉じてロックします。

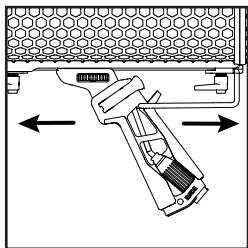
# ハンドルの調節

ハンドルは、装着するマイクの重さのバランスおよび操作性に最も適したレールの位置に、何度でも設置し直す事ができます。

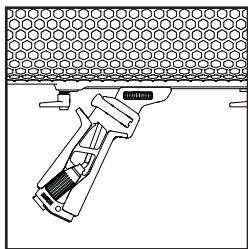


1. ハンドルの位置を変更する場合は、先ずハンドル・ロックダイヤルを左方向に数回回して緩めます。

ロックダイヤルを緩めた際にプリンプハウジングがぐらつかないように、予めプリンプハウジングを手でしっかりと支えてください緩めた状態。

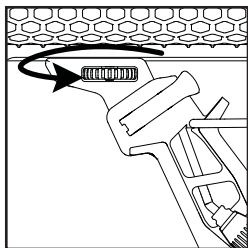


2. レール上のハンドルを上下に滑らせて、最もバランスの取れる位置へ移動させます。

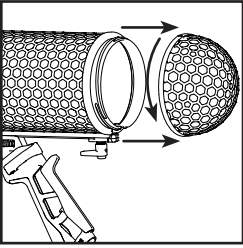


3. ハンドルは、レールに沿った移動が可能である他、さらに使い易いように 180° 回転させることができます。

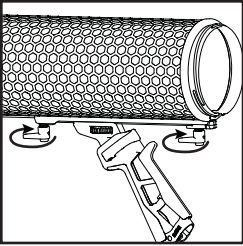
ハンドルを回転させる際は、必ずハンドル・ロックダイヤルを緩めてから行なってください。



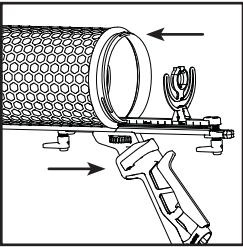
4. ハンドル・ロックダイヤルを締め付けるときは、時計方向へ回してください。



1. リアドームのネジを緩めて取り外します。

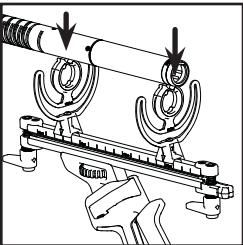


2. レールクランプレバーのフロントとリアを緩めます（約1~2回転）。



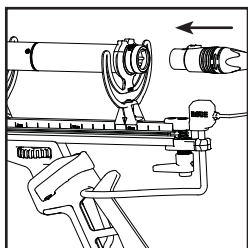
3. メイン Blimpハウジングからサスペンション本体をスライドさせます。

(バランスと隔離を最適にするために、Lyreクリップの位置を調節する必要がある場合もあります。詳細は本マニュアル後半に記載されています。)

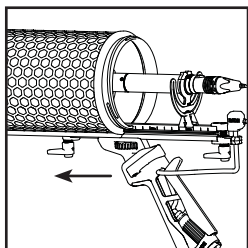


4. マイクを Lyre クリップの上方へ設置し、マイク本体をゆっくと Lyreクリップへ押し付け、マイクが固定されたことを確認してください。

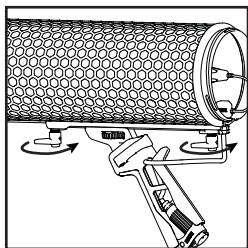
# マイクの挿入



5. BlimpプロケーブルをマイクのXLR 端子へ接続します。

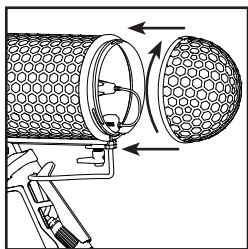
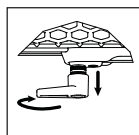


6. レールをメイン Blimp ハウジングに合わせながら、サスペンションアセンブリーをメイン Blimp ハウジングにスライドさせて戻します。



7. フロントとリアのレール・クランプレバーを締め付けます。

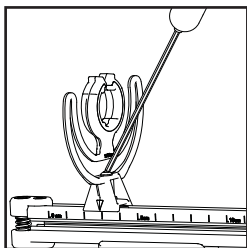
各レバーの締め付け角度は、レバー自体を下に下げ、好きな角度に回転させるだけで個々に調節できることに注意してください。



8. ネジを回してリアドームを元の位置に戻します。

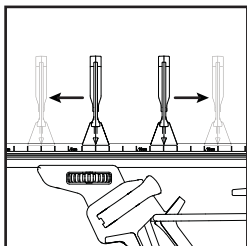


# サスペンションマウントの調節

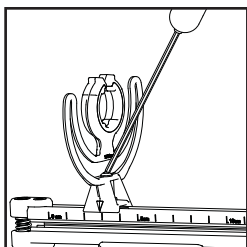


マイクによっては、Lyre クリップをレールに沿って前方または後方へ移動させる必要があります。Lyre クリップの位置を調節する場合は、以下の手順に従って下さい。

1. 同梱の 2mm 六角ネジ回しを使用して、Lyre クリップのクランプネジを緩めます ( 2~3 回転で十分なため、それ以上回す必要はありません)。



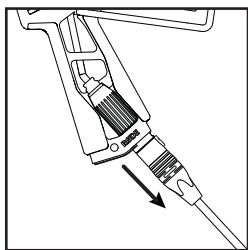
2. Lyre クリップの基部とレールを手で支えながら、Lyre クリップを任意の位置へ滑らせます。



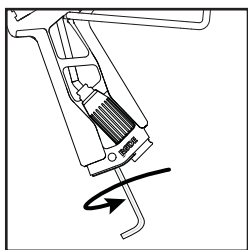
3. Lyreクリップが中央に位置していることを確認し、レールに沿って真っすぐ上下させ、クランプネジで再び締め付けてください。

## 装着済みケーブルの取り外し

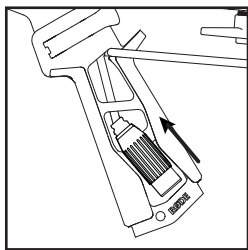
---



1. 既に装着されているBlimp プロケーブルを取り外す場合は、他に接続されているケーブルを全て取り外してから行ってください。

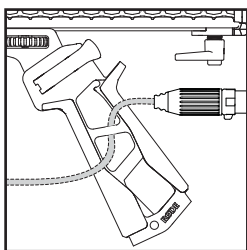


2. 3mm の六角ネジ回しを使用して、組み込まれている XLR クランプ/スレッドアダプターのネジを緩めてハンドルアセンブリーから取り外します。

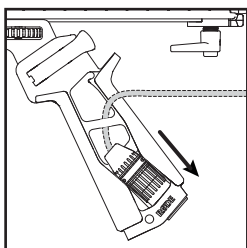


3. ケーブルを取り外す際は、ハンドルからXLR ケーブルを上方へスライドさせて取り外す必要があります。

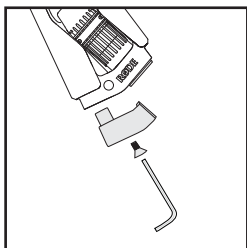
# ケーブルの固定



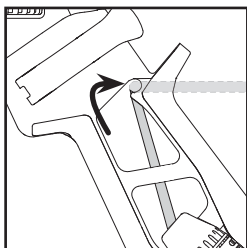
1. ケーブルをハンドルアセンブリーに通す際は、以下の配置になるように挿入します。



2. オス XLR の先端を以下のようにハンドルの基部に通し、先端を僅かに突出させます。



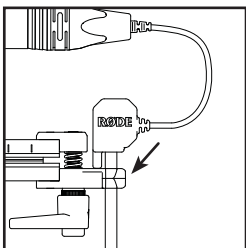
3. XLR/ブームポール・アダプターを使用して XLR ケーブルを固定し、3mm の六角ネジ回しを使用してネジを締め付けます。



4. ケーブルクリップを使用してケーブルをハンドルの上部に固定します。

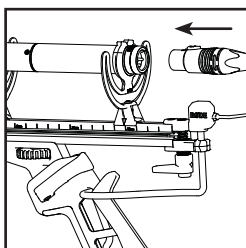
# ケーブルの固定

---



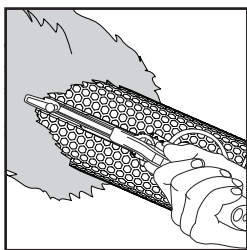
5. Blimp プロケーブルを使用する場合は、以下の図で示す配置と一致するように注意しながら、ケーブルグロメットを使用してレール後部で固定します。

Blimpの同梱ケーブル以外のものを使用する場合は、リアドームの設置に十分なスペースがあることを確認してからケーブルグロメットでケーブルを固定してください。

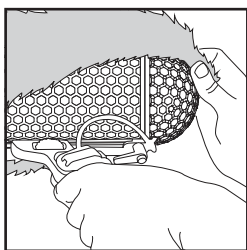


6. マイクにケーブルを接続し、最も使い易い角度になるようにハンドルを調節してください。

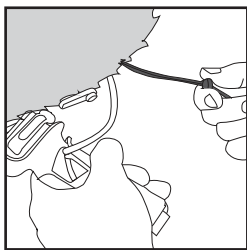
# デッドウオンバットの使い方



1. デッドウオンバットの縫い目と Blimp 下側のレールを揃えるようにして Blimp の先端から先に挿入します。

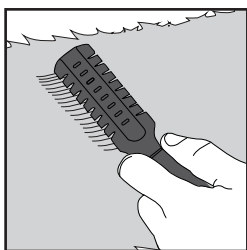


2. デッドウオンバットの締めひもを緩め、リアドームにデッドウオンバットを慎重に引っ張りながら被せます。



3. たるみや、しわがよらないようにデッドウオンバットを装着してから締めひもを縛ってください。

雑音を防ぐためにも、締めひもはフロントレールのクランプレバーにかけておく事を推奨します。



4. 毛を立たせ、もつれを防ぐためにも、デッドウオンバットの毛を前側から後ろ側へブラシをかけることを推奨します。

これにより、ウインドノイズをより効果的に防ぐばかりではなく、より長くデッドウオンバット・ウインドスクリーンをご使用する事ができます。

# デッドオンバットのお手入れ

---

デッドオンバットのお手入れについては、ドライクリーニングを推奨しますが、汚れを手洗いで洗浄する場合は、中性洗剤でやさしく洗った後、よくすすいでから風に当てて自然に乾燥させてください。

乾いた後は、合成毛全体を櫛でとかしてもつれをほぐしていただければ、長期に渡ってご使用いただくことができます。



**RØDE**<sup>®</sup>  
MICROPHONES



## Australia

107 Carnarvon st, Silverwater NSW 2128 Australia  
Ph: +61 2 9648 5855 Fx: +61 2 9648 2455

## USA

PO Box 4189, Santa Barbara CA 93140 USA  
Ph: +1 805 566 7777 Fx: +1 805 566 0071